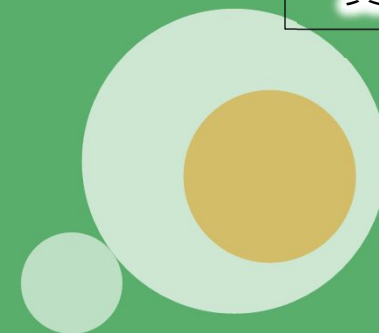


次期広域最終処分場 基本設計 概要版



～未来を築く地域と共生した最終処分場～

安全・安心

環境に配慮

地域との融和



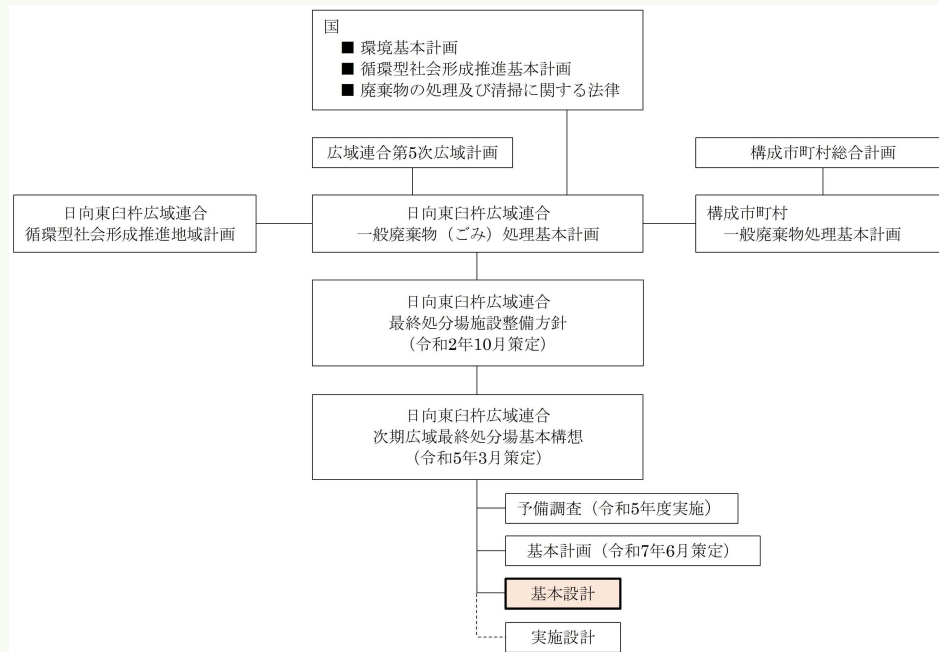
1. はじめに・整備コンセプト



はじめに

日向東臼杵広域連合（日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）では、圏域から発生する焼却灰や不燃物の埋立処分を行う次期広域最終処分場の整備を進めています。

基本設計は、これまでの基本構想・基本計画で示した方針や施設の大枠を踏まえて、測量・地質・環境影響調査の結果をもとに、施設の構造・規模・配置を具体的に定めています。



整備コンセプト

地域に受け入れられる最終処分場を目指し、次の3つのテーマに特に配慮しています。

テーマ1 安全・安心

災害や気候変動に対して強靱な構造を採用した「安全・安心」な施設とします。

テーマ2 環境に配慮

施設内の緑化といった自然環境や生活環境など「環境に配慮」した施設とします。

テーマ3 地域との融和

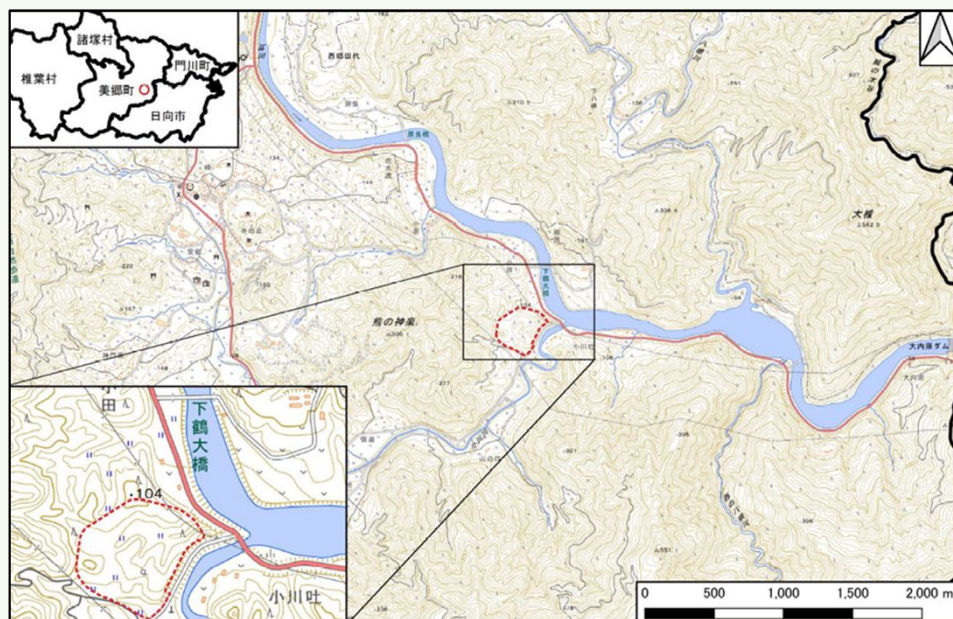
地域に親しみをもって受け入れて頂けるように「地域との融和」を考慮した施設とします。

2. 建設候補地と埋立計画



建設候補地

所在地 : 宮崎県東臼杵郡美郷町西郷田代
周辺河川 : 北側に耳川、東側に田代川
接道 : 北側に国道327号、南東側に町道



出典：「地理院地図 国土地理院」を加工して作成

埋立計画

埋立対象廃棄物	焼却灰、不燃系処理残渣、 浸出水処理施設からの汚泥、土砂・がれき類
埋立廃棄物容量	40,800 m ³
埋立期間	15年間（供用開始 令和13年度を予定）
埋立形式	準好気性埋立構造
埋立方式	1区画埋立・サンドイッチ型 （2.5m毎に中間覆土0.2m）
搬入方法	ダンプ直接搬入方式

地質調査結果を踏まえ、十分な地耐力のある地盤を基盤として埋立地を整備します。

3. 施設配置計画



施設構成

主要施設

埋立地／被覆施設／貯留構造物／遮水工／浸出水集排水施設／地下水集排水施設

管理施設

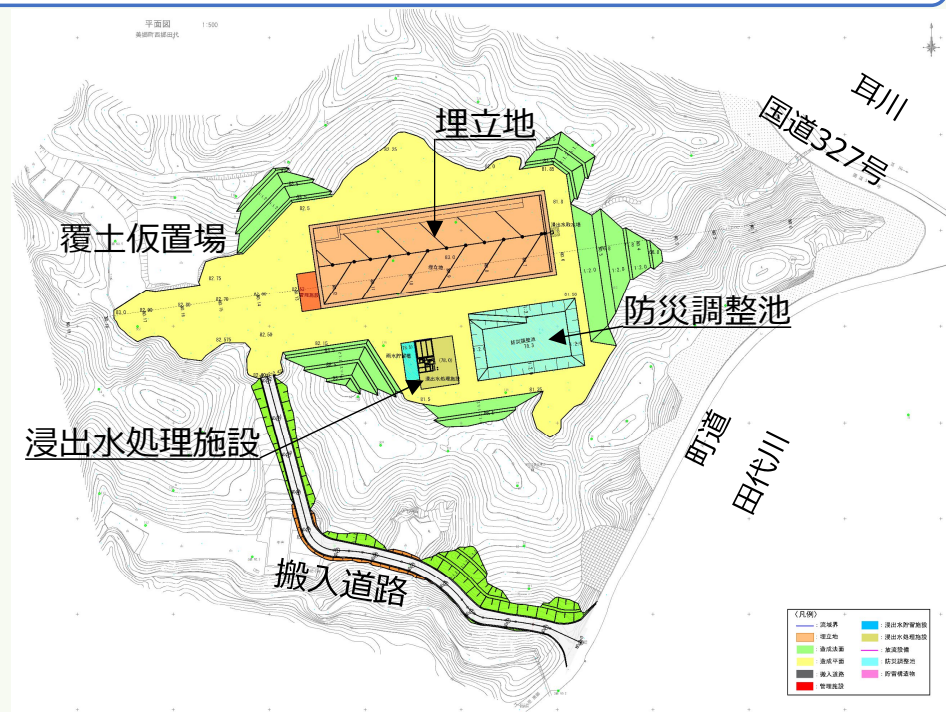
搬入管理施設／モニタリング施設／管理棟（浸出水処理施設と兼用）／管理道路

関連施設

搬入道路／門扉・囲障／覆土仮置場／防災調整池

配置の基本的な考え方

- ① 地盤の安定性：十分な支持力のある地盤に施設基礎を設置しています。
- ② 法面の安定：切土・盛土は安定計算で安全性を確認しています。
- ③ 地形の有効利用：谷地形を活かし切土と盛土のバランスを計画しています。
- ④ 動線計画：計量設備を出入口付近に配置し、搬入車両の経路を確保します。
- ⑤ 排水計画：高低差を利用した自然流下とし、防災調整池を下流側に配置しています。

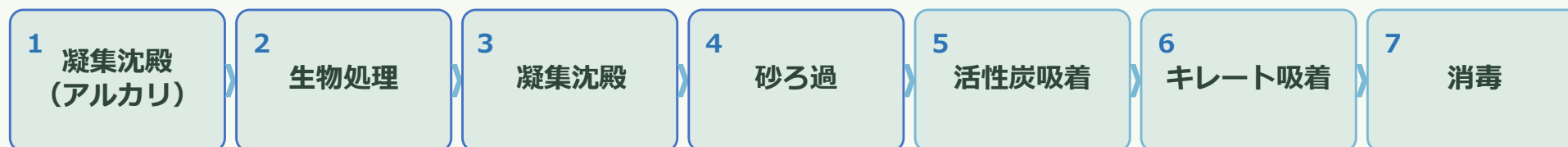


4. 浸出水処理施設



埋立地から出る水は、7段階の処理を経て安全な水質としてから放流します。

処理フロー



基本方針

浸出水処理量	22 m ³ /日
散水量	22.6 m ³ /日
調整設備容量	150 m ³ (7日分程度)
液固比	3.0 (高度処理～脱塩相当)
放流地点	防災調整池の下流水路 → 場内水路 → 耳川

水質設定値

項目	単位	計画原水	計画処理水
pH	—	4～13	5.8～8.6
BOD	mg/L	250	10
COD	mg/L	200	20
SS	mg/L	1500	10
T-N	mg/L	100	60
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	—	10

※その他の項目は排水基準値以下としています。

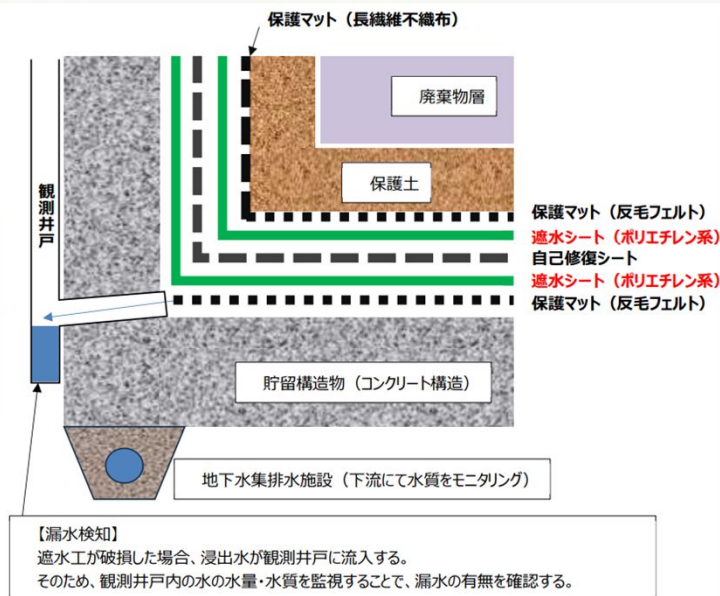
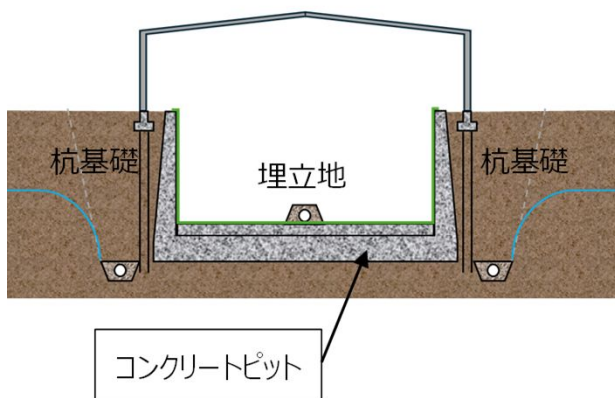
※処理フロー図 (図20) ・放流地点図 (図18) は別紙の基本設計図面集に掲載しています。

5. 遮水・漏水検知システム（安全・安心の要）

周辺の地下水や河川を守るため、複数の仕組みを重ねて遮水します。

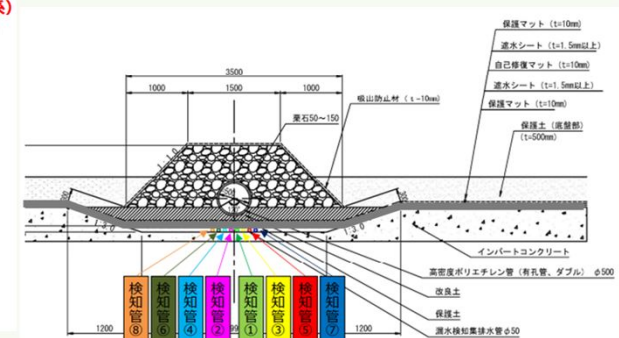
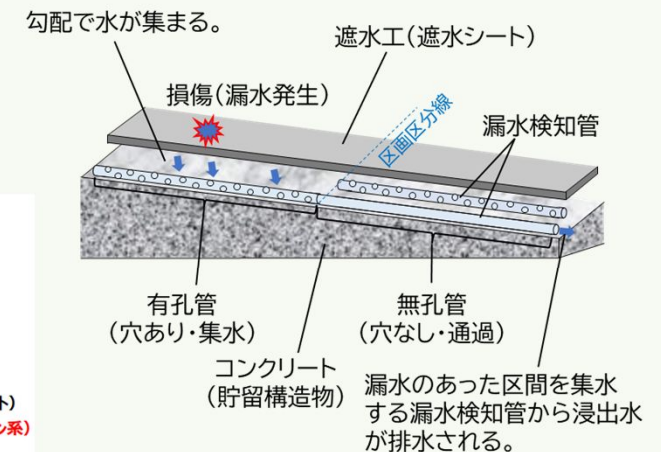
多重の遮水構造

- ① 貯留構造物（コンクリート構造）
ピット方式で埋立地を区切っています。
- ② 二重の遮水シート（ポリエチレン系）
実績豊富で耐久性に優れた材料を採用します。
- ③ 自己修復シート
万一の損傷時に水分に反応して膨らみ、不透水性を回復します。
- ④ 保護マット
シートを外力や摩耗から守ります。



漏水検知システム

埋立地の底面を8つの区画に分割し、それぞれに漏水検知管を設置します。観測井戸に導水された水の電気伝導度を常時監視することで、状態を確認します。



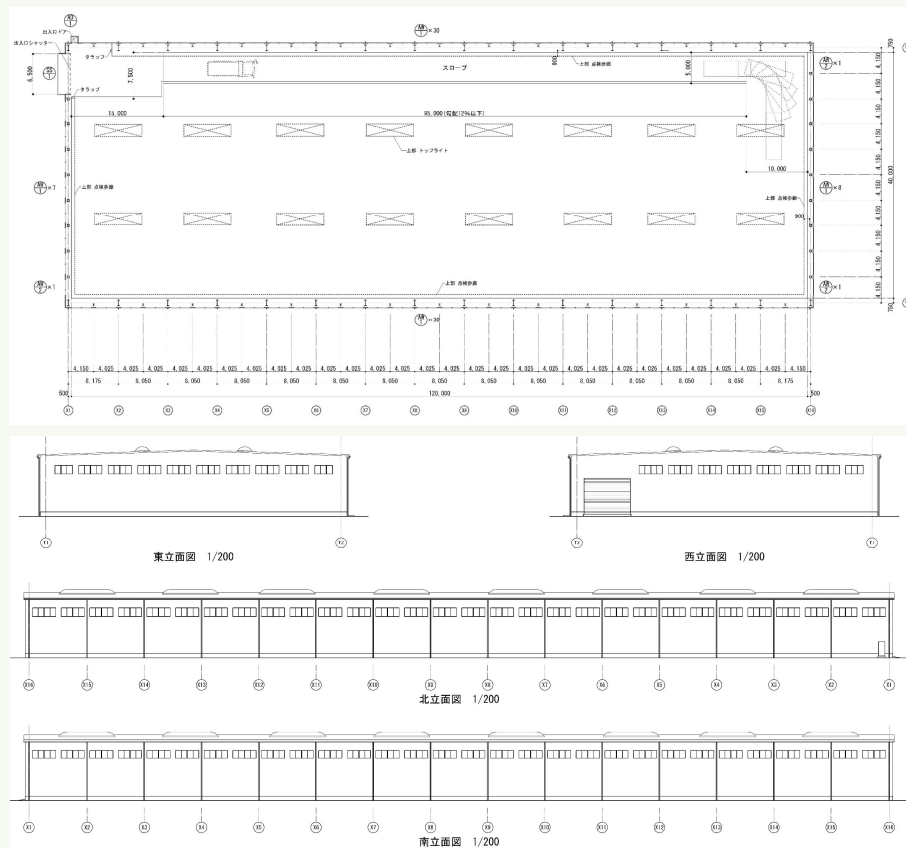
6. 被覆施設と環境に配慮した設備



被覆施設

架構：ラーメン構造（鉄骨などを長方形に組んだ構造）

コスト面と施工性に優位性があり、工事中的環境負荷も最小限となる構造を採用しています。周辺の景観との調和にも配慮します。



環境に配慮した設備

換気

換気設備

第一種機械換気を採用し、計画的で安定した換気量を確保します。

ガス

ガス検知設備

メタン・水素・硫化水素・一酸化炭素・二酸化炭素・酸素・温度を常時監視します。

照明

照明設備

採光とLED照明を組み合わせ、省エネルギーに配慮しています。

散水

散水設備

埋立地内の粉じんの飛散を抑える散水設備を備えています。

監視

監視カメラ

埋立地内の状況を常に見守れるよう監視カメラを設置します。

点検

点検歩廊

メンテナンスのための点検歩廊（幅900mm以上）を設けています。

7. モニタリング計画（皆さまと一緒に見守ります）



地下水・放流水・大気・騒音・振動など、さまざまな項目を継続的に測定し、施設の状況を確認します。

法令等に基づくモニタリング

対象	頻度	内容
地下水	月1回	電気伝導度・塩化物イオン濃度
	年1回	地下水等検査項目
浸出水 (放流水)	月1回	pH・BOD・COD・SS・T-N
	年1回	排水基準（健康項目、生活環境項目）・ダイオキシン類
	常時	pH・電気伝導度
粉じん	6か月に1回	埋立地内の粉じん
ガス・温度	常時	メタン・水素・硫化水素・一酸化炭素・二酸化炭素・酸素・温度

住民の皆さま向け 自主モニタリング

対象	頻度	地点
河川水	年1回 (供用開始後2年間)	耳川放流地点から大内原ダムまで
粉じん	年1回 (供用開始後2年間)	敷地境界等 (生活環境影響調査と同地点)
悪臭	年1回 (供用開始後2年間)	敷地境界等
騒音振動	年1回 (供用開始後2年間)	敷地境界等

ポイント 住民説明会等で出たご意見を踏まえ、法令に基づく項目に加えて、河川水・粉じん・悪臭・騒音振動についても自主的に期限を定めたモニタリングを実施する体制を構築し、透明性の高い運営を行います。

8. 概算工事費・財源計画・工事順序



概算工事費

令和7年度時点の
全体概算工事費

約 67.1 億円

財源計画

区分	金額（千円）	備考
総事業費	6,708,930	
交付金	1,947,832	循環型社会形成推進交付金等
起債	4,155,172	一般廃棄物処理事業債
一般財源	605,926	

※循環型社会形成推進交付金・廃棄物処理施設整備交付金と地方債（一般廃棄物処理事業債）を組み合わせで調達します。

工事の順序

①

搬入道路の整備

最初に資材搬入ルートを確認します。

②

埋立地周辺の掘削

支持層まで掘削し、残土は場内に仮置きしています。

③

貯留構造物の整備

埋立地底部のコンクリート構造物を構築します。

④

埋立地の埋戻し

掘削残土を使って埋め戻し、被覆施設工事と並行して進めます。

⑤

浸出水処理施設・防災調整池の整備

③の完了後に④と並行して進めています。

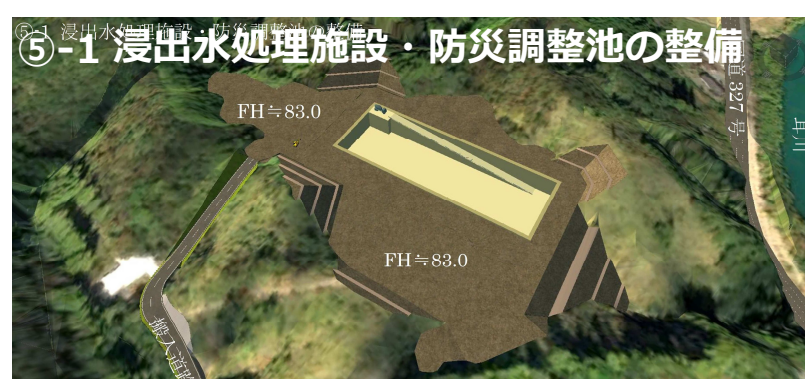
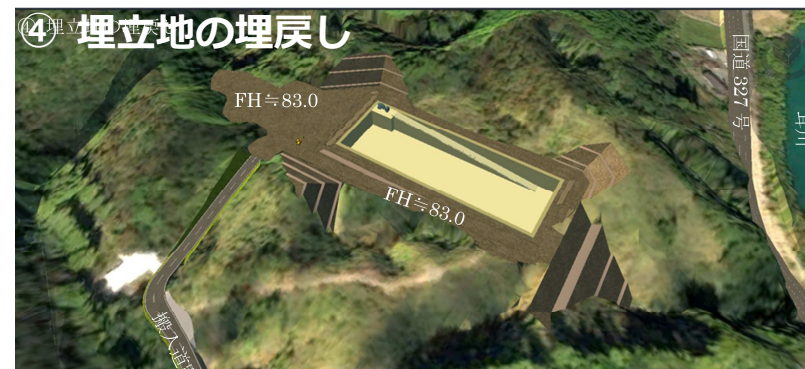
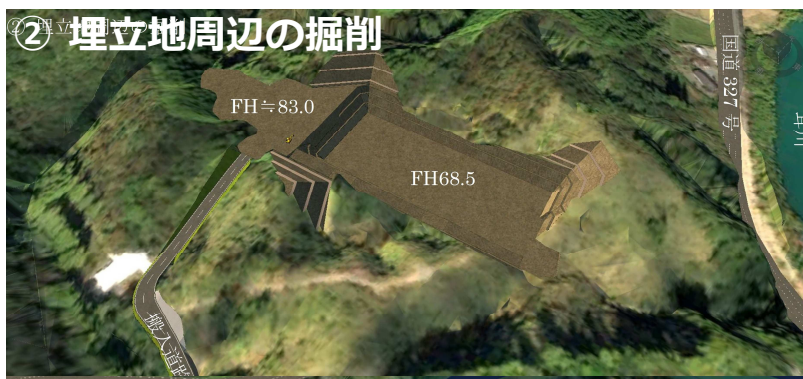
残土の有効活用

工事中に発生する土は場内に仮置きして埋め戻しや覆土に再利用し、場外搬出を最小限にします。

8. 概算工事費・財源計画・工事順序



工事の順序図



9. 整備スケジュール



整備スケジュール

事業整備については下表のとおり進めてまいります。
本スケジュールは現時点の予定であり、今後の協議等により変更となる場合があります。

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度以降
地元協議	公害防止協定							
	地域振興策							
	建設同意							
調査	生活環境影響調査							
計画設計	基本設計							
	実施設計							
工事	工事積算							
	工事発注							
	建設工事							
	埋立開始							

10. おわりに

地域と共生する最終処分場を目指して

次期広域最終処分場は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の皆さまの暮らしを支える大切な施設です。今後も説明会を開催し、ご意見等を伺いながら、安全で環境にやさしく、地域に親しんでいただける施設となるよう計画します。

安全・安心

環境に配慮

地域との融和



お問い合わせ 日向東臼杵広域連合

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。